

# そよげ風

山口市立小郡小学校学校だより11月号

平成24年度No.7 (通算36号)

平成24年10月29日

手紙について考える

校長 藤田辰夫

今年度の全国学力・学習状況調査のテスト問題に、手紙の書き方についての設題が出ていました。本校の結果は、「目的や意図に応じ、依頼する具体的な内容を選択する」は、正答率が66% (全国65%)、「目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、返事の仕方と内容を記述する」は、正答率48% (全国55%)、「手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置を適切に選択する」は、正答率28% (全国23%) でした。特に3問目の後付けの位置の正答率が低かったのは、日常的に手紙を書く習慣や実際に手許で触れることが減ってきているためではないかと思われます。

手紙に関する国語の授業は、■第1, 2学年で、○絵に言葉を入れること、○伝えたいことを簡単な手紙などに書くこと、■第3, 4学年で、○手紙を書くこと、○経験したことを記録文や学級新聞に表すこと、■第5, 6学年で、○礼状や依頼状などの手紙を書くこと、○経験したことをまとめた記録や報告にすること、などを指導することになっていますが、指導時間も少なく限られており、定着が難しかったようです。

最近では、我々大人も、メールやワープロなどの普及とともに、手書きで手紙を書くことが少なくなりました。時々直筆の手紙などをいただくと、その人の人柄が偲ばれ温かい気持ちになります。

さて、礼法宗家の小笠原敬承斎氏は、『小笠原流には「書札の次第」というタイトルの伝書があり、手紙に関する教えは数多く残されている』と、ある本に書いていました。それは、『脇付けというものがある。脇付けとは、相手に対する敬意を表すため、相手の名前前の左下に記すことばのことで、その代表的なものに「机下」がある。この2文字には、直接相手に手紙を差し上げることを控え、相手のそばにある机の下に手紙を置いておきますのでお時間があるときにご覧ください、という慎みのところが込められている。』と書いていました。

また、『昨今は手紙を便箋1枚で書き上げた場合、もう1枚白紙の便箋をつけることは無意味とする意見もある。だが小笠原流の伝書に、白紙を重ねることによって相手への敬意の念を表すことができる、と記されている。昔は紙が貴重だったため、白紙を添えること自体が礼の表れでもあったと考えられる。』と書いていました。手紙には、日本人の慎み深いところと礼の精神という日本の文化そのものが表出していると考えられます。

日本の文化といえば、今年度本校のクラブ活動に、「日本文化」というクラブができました。先日は、水墨画を書く活動をしていましたが、硯で墨をするということから始めていました。書写の時間では、墨汁で簡単に書いている子どもたちには、墨をするという体験だけでも新鮮だったようで、楽しんで書けていました。それで書いた水墨画も濃淡があり、なかなかのできばえでした。

我々は、つい便利なものを使うことに慣れてしまっていますが、たまにアナログ的なものを使うと、心が落ち着くことがあります。手書きの手紙を出すことで生まれる心静かな時間や、人と人との和を楽しむということもいいことではないかと思えます。

## 最近の行事から

### 音読大会 9月28日(金)



1日フリー参観日に音読大会を実施しました。音読大会は、「作品を読み味わわせたり、言葉のリズムや響きを楽しませたりすることによって、感受性や言語感覚を身につけさせる」というねらいがあります。

当日は、学級や学年で次のようなことが行われました。

- 1年 教科書や「話す・聞くスキル」を使った発表。群読、I行読み、役割読みをグループやクラス別で発表。
- 2年 「話す・聞くスキル」を使い、自分が読みたいところの音読発表。
- 3年 音読詩集「くさぶえ」を使った学級別群読、グループ発表、個人発表。
- 4年 個人やグループで詩の暗唱や物語文の音読。
- 5年 絵本を班で読んで発表、音読スキルの中から好きな詩を発表、いろはカルタを使った大カルタ大会。
- 6年 個人発表とグループ発表(暗唱)、群読等。

### 6年修学旅行 10月4日(木)～5日(金)



6年生が待ちに待った修学旅行が実施されました。1日目は、広島平和記念公園・原爆資料館・広島こども文化科学館・広島城の見学、原爆証言者さんのお話の聴講、2日目は、厳島神社や宮島水族館の見学等、予定通りの日程を終えることができました。

6年生が次のような感想を述べています。「自分にとって平和とは、人々が幸せに暮らして、戦争を無くし、笑顔で生活することだと思います。世界中の人たちに戦争がどんなものを奪ってどんなものを消し去るのかを伝えて、世界に平和を築き、何十年か後にはこの地球から戦争が無くなることを願いたいと思います」。

また、6年学年主任の竹本教諭は次のような感想を話しました。「社会の中で、マナーや服装に気を付けてグループ活動や自由行動をすることができた。時間も守られ、有意義な修学旅行であった」。修学旅行での体験を今後の学校生活に生かしてくれることを期待しています。

### 給食試食会 10月4日(木)

栄養教諭の話、給食配膳の見学、試食という流れでPTA保健施設部のお世話の下、給食試食会が実施されました。

栄養教諭からは、学校給食では「まごは(わ)やさしい」給食を考えているというお話がありました。

- ま 豆類、豆製品を食べよう！
- ご ごまなど種実類を食べよう！
- は わかめなど海藻類を食べよう！
- や 野菜をもっと食べよう！
- さ 魚をもっと食べよう！
- し しいたけなどのキノコ類を食べよう！
- い いも類をもっと食べよう！



## **5年自然体験学習（宿泊学習） 10月10日（水）～12日（金）**



山口県秋吉台青少年自然の家で2泊3日の日程で実施されました。自然の家では「自律・協力・奉仕」の精神が重視されています。がまんするところはがまんすること、力を合わせて行うこと、人のため、社会のために尽くすことを目標として3日間を過ごすことができました。

野外炊事では、力を合わせてカレーライスを作ることができました。後片付けでは、ピカピカになるまで、鍋を磨き、完璧に片付けをすることの難しさと、達成したときの充実感を体感することができました。また、豊かな自然に囲まれた中、天体観測や景清洞の見学は自然のもつ崇高さを実感できたと思います。5年学年主任の古谷教諭は次のように述べています。「自然体験学習を通して協力することの大切さを学んだ。この学習を終え、学年としてのまとまりが良くなった」と。

自律・協力・奉仕の精神を、学校でもさらに生かしてくれることを期待しています。

## **見守り隊への感謝の会 10月17日（水）**



感謝の会は次のような目的で実施されました。

○今年で8年目を迎えた「ふれ愛見守り隊」の方々を学校にお招きし、学校及びPTAとして感謝の意を伝えるとともに、児童にも感謝の気持ちを持たせ、安全に対する意識を高めさせる。

○見守り隊の方々に今後の協力を要請する。

PTA代表・校長あいさつ、児童代表感謝の言葉、見守り隊代表あいさつがあり、その後、情報交換会が行われました。児童からの温かい手紙に涙ぐむ方もおられ、感謝の意は十分に伝わったのではないかと思います。

企画・運営を中心になって進められたPTA生活教養部に感謝申し上げます。

## **小郡小ふれあいフェスタ 10月20日（土）**



親子で楽しめる小郡小ふれあいフェスタが行われました。友愛セール、バザー、吹奏楽部による演奏、図書ボランティアによる読み聞かせ、おやじの会によるクイズ等で多くの方が楽しむことができました。吹奏楽部の演奏した曲目は、「会いたかった、everydayカチューシャ、ふるさと、sing、sing、sing」。テンポの良い曲と落ち着いた曲を織り交ぜ、じっくりと聴かせてくれました。最後のおやじの会によるクイズでは、多くの児童が参加をし、賞品を獲得していました。

綿密な計画と準備、そして、的確な運営をされたPTA執行部並びに役員の方々に感謝申し上げます。



### < 11月の行事予定 >

### < 12月の行事予定 >

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
7	水	校内音楽会 A L T 来校	3	月	全校漢字大会
8	木	集金日 (給食費・P T A 会費)	4	火	校内持久走大会
9	金	1 年校外学習	6	木	集金日 (給食費・学年費)
12	月	委員会活動			A L T 来校 学校運営協議会
13	火	就学時健康診断 (受付12:50)	13	木	こころの劇場 (6 年)
15	木	学年集金日 2 年校外学習	14	金	A L T 来校
16	金	山口市小学校合同音楽会	19	水	学期末個人懇談会 (~ 2 0 日)
19	月	クラブ活動	21	金	終業式
20	火	にこにこタイム			
21	水	4 年車いす体験			
22	木	A L T 来校 3 年学年 P T A 活動			
23	金	勤労感謝の日			
27	火	避難訓練 (2 校時) 予備日は29日			
28	水	A L T 来校			
29	木	全校計算大会			

## 山口市の結果公開(平成24年度全国学力・学習状況調査)

山口市ホームページの市政情報「教育委員会」のサイトに市の結果が掲載されていますので、アクセスしてみてください。

山口市ホームページ (トップページ) > 市政情報「教育委員会」 > 新着情報

## 山口県広報紙「ふれあい山口」への掲載

山口県は県の広報紙「ふれあい山口」を発行しています。このたび、その11月号で小郡小学校1年生の写真が掲載されることになりました。写真の内容は、「給食後の歯磨きの風景」。11月の「歯・口腔の健康」のテーマに合わせての企画です。10月1日(月)と10月3日(水)の2回、山口県広報広聴課の職員が来校され撮影されました。子どもたちは、とびっきりの笑顔でカメラに収まっていました。

### 登下校はできるだけ子どもの足で

下校時には、玄関前の駐車場は渋滞しています。渋滞防止と事故防止のため、やむを得ない場合を除き、できるだけ児童の足で登下校をお願いいたします。